

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この組立施工マニュアルをよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本マニュアルに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- このマニュアルは施工後必ず施主様へお渡しください。

○注意(設置場所・設置位置について)

- 開閉操作の際には、手足や衣服などをはさまれないよう注意してください。はさまれると怪我をする恐れがあります。
- 門扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 開閉操作の際は、周囲に人や物がいないことを必ず確認してください。又、開閉操作はゆっくり行ってください。扉に人がはさまれ、事故の発生する恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

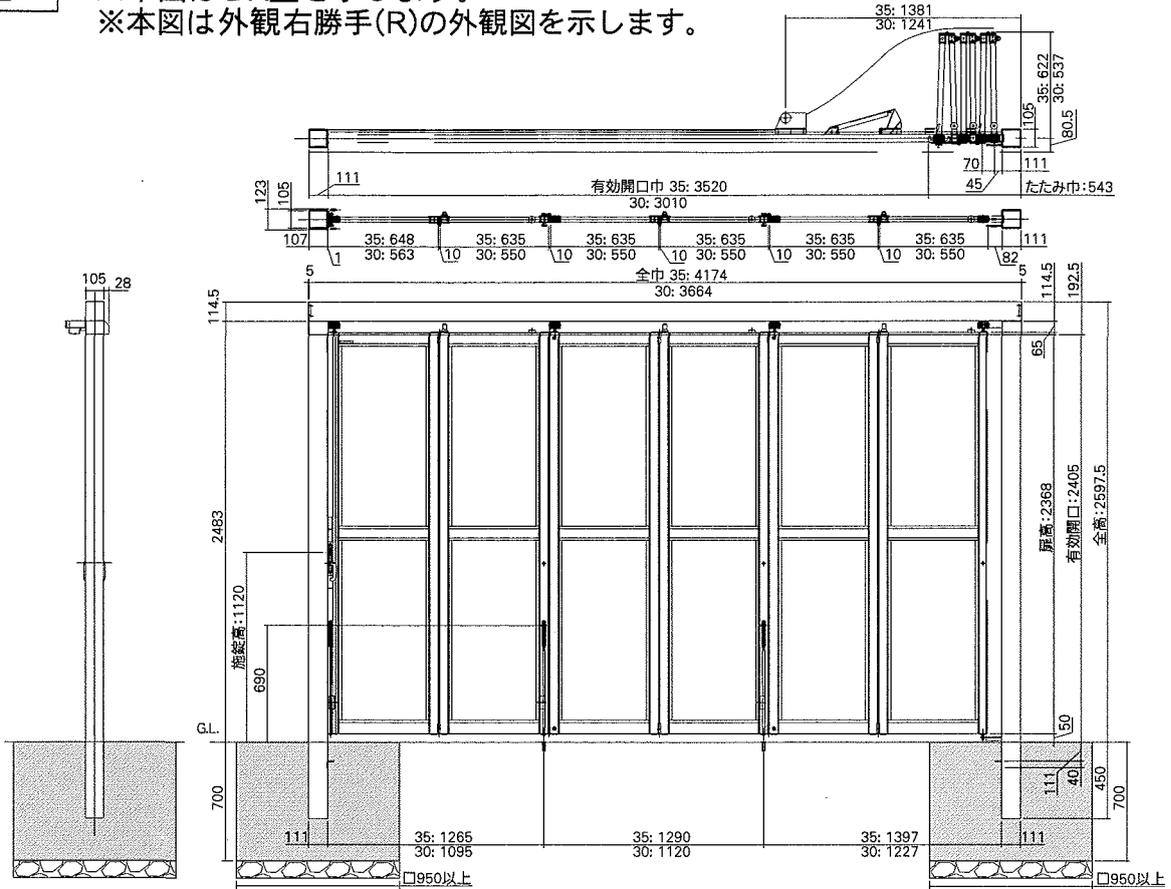
— 目次 —

組立・施工の前に	1	5 吊り元ブラケットの取付け	13
注意(設置場所・設置位置について)	1	6 扉の連結	13
施工時の注意事項	1	7 取っ手の取付け	14
納まり図	2~4	8 吊り元ガイドの取付け	14
梱包明細	5~7	9 吊り戸車の高さ調整	15
施工手順		10 施錠受けの高さ調整	16
1 はじめに	8	11 落とし棒の操作方法及び設置	16、17
2 門柱・上枠レールの組立て	9	12 ガイドローラーの取付け	18
3 ガイドレールの落とし棒受けの孔あけと 柱への取付け	9~11	13 クッションゴムの取付け	18
4 扉の吊り込み	12、13	■ おわりに	18

納まり図

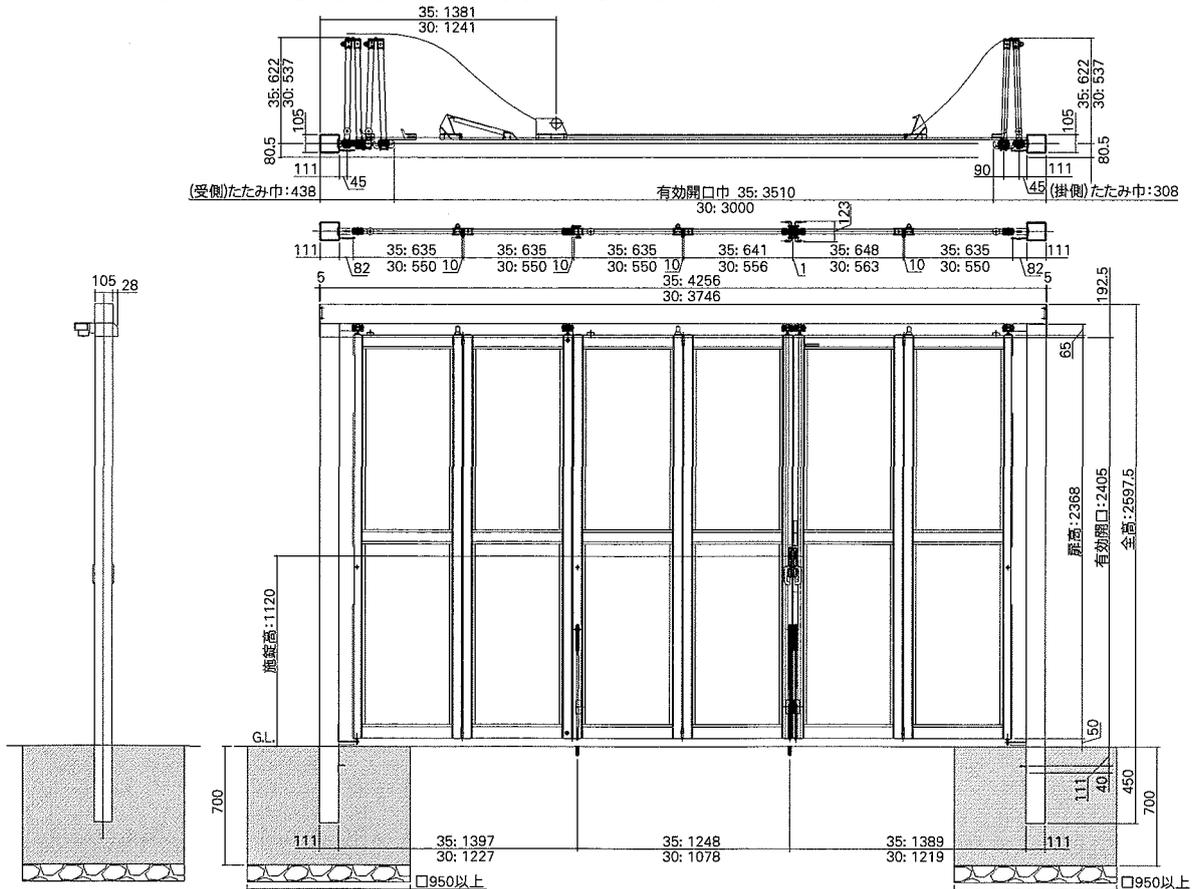
片開き

※本図はDR型を示します。
 ※本図は外観右勝手(R)の外観図を示します。



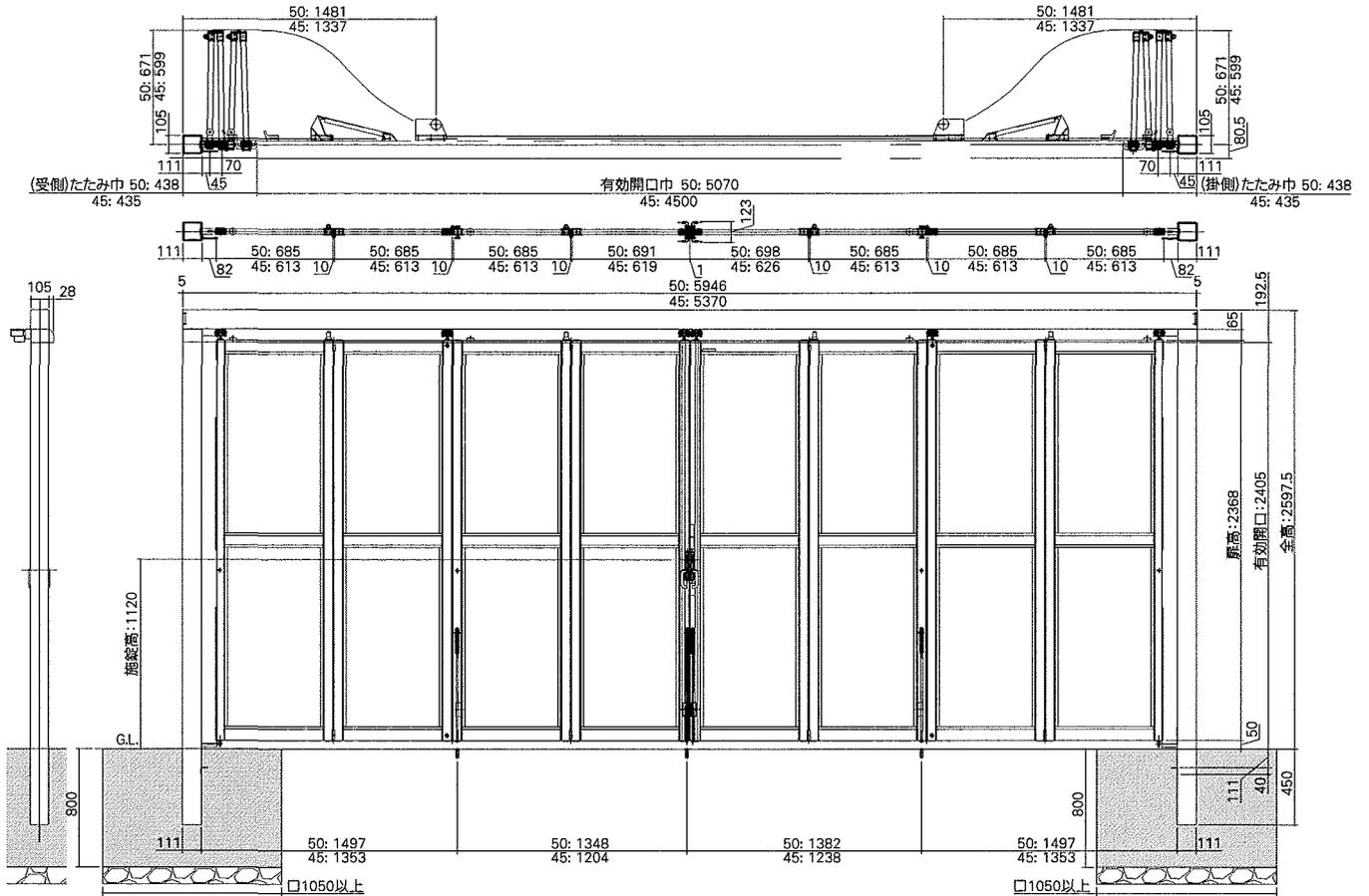
親子開き

※本図はDR型を示します。
 ※本図は外観右勝手(R)の外観図を示します。



両開き

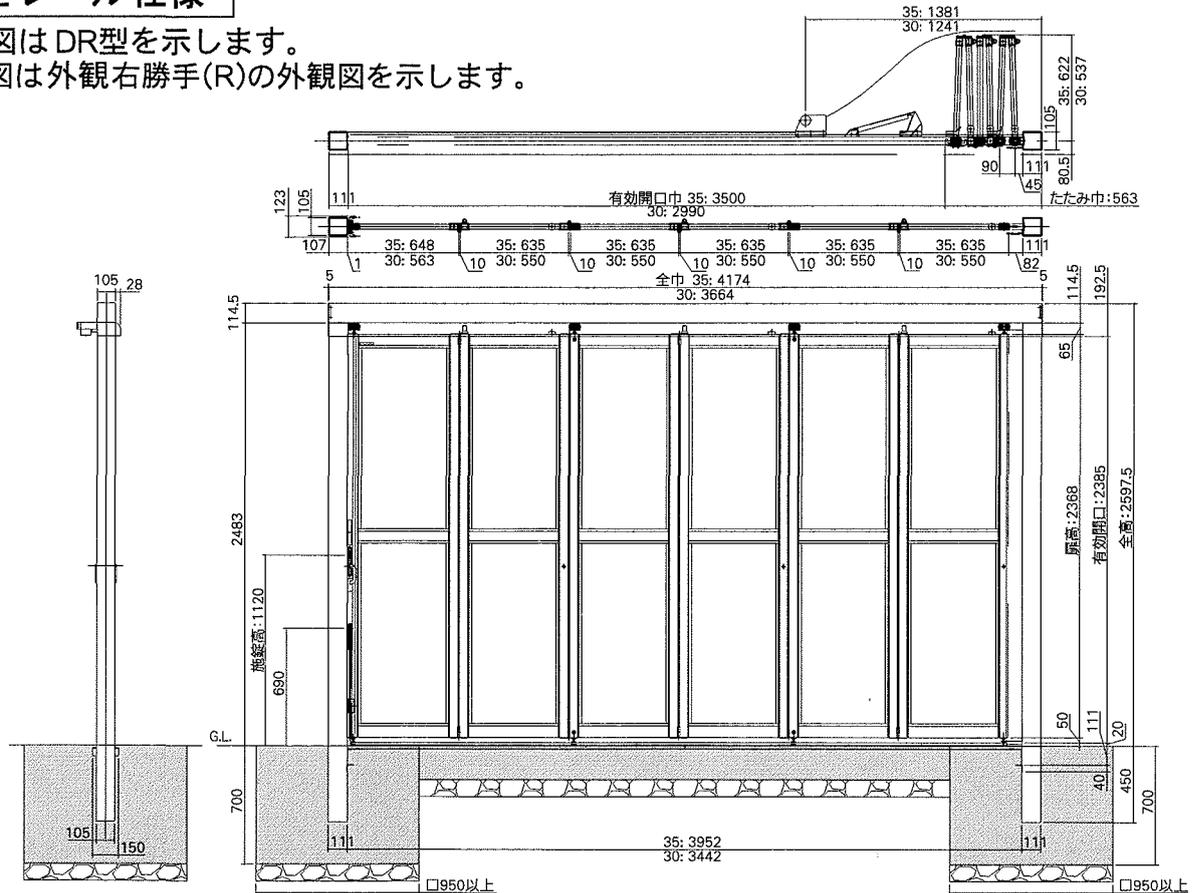
※本図はDR型を示します。
 ※本図は外観右勝手(R)の外観図を示します。



ガイドレール(オプション)の取付け

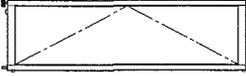
片開きレール仕様

※本図はDR型を示します。
 ※本図は外観右勝手(R)の外観図を示します。

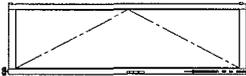
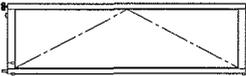


梱包明細

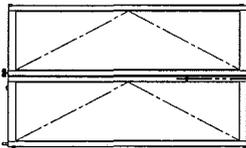
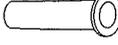
■ 施錠・掛け・吊り元扉セット(片開き、両開き、親子開き)

部品名		略 図			数 量	
	掛け扉		片開き 親子開き 両開き	W30:563 W35:648 W45:626 W50:698	H24:2368	1枚
	吊り元扉		片開き 親子開き 両開き	W30:550 W35:635 W45:613 W50:685	H24:2368	1枚
	ハンドルセット (鍵付き)					1セット
ヒンジ セット	丸皿小ネジ		M4×12			2本
	ヒンジピン					2本
	平座金		M10 小型丸			2枚
	落とし棒埋込みパイプ					1本

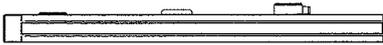
■ 受け・吊り元扉セット(親子開き、両開き)

部品名		略 図			数 量	
	受け扉		親子開き 両開き	W30:592 W35:647 W45:625 W50:697	H24:2368	1枚
	吊り元扉		親子開き 両開き	W30:550 W35:635 W45:613 W50:685	H24:2368	1枚
	ハンドルセット					1セット
ヒンジ セット	丸皿小ネジ		M4×12			2本
	ヒンジピン					2本
	平座金		M10 小型丸			2枚
	落とし棒埋込みパイプ					2本

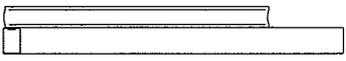
■ 中間扉セット(片開き、親子開き、両開き)

部品名		略 図			数 量	
	中間扉		W30:550 W35:635 W45:613 W50:685	H24:2368	1セット	
ヒンジ セット	丸皿小ネジ		M4×12			2本
	ヒンジピン					2本
	平座金		M10 小型丸			2枚
	落とし棒埋込みパイプ					1本

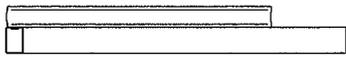
■ 柱セット(片開き) L/R有り

部品名	略 図	数 量
戸当り柱	 (片開き) H24:2933	L又はR 1セット

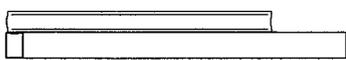
■ 柱セット(片開き) L/R有り

部品名	略 図	数 量
吊り元柱	 (片開き) H24:2933	L又はR 1セット
吊り元ブラケット		1個
六角穴付皿ボルト	 M8×20	2本
六角レンチ		1本

■ 柱セット(両開き電源側) ※柱は、約30kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

部品名	略 図	数 量
吊り元柱	 (親子開き) H24:2933	L又はR 1セット
吊り元ブラケット		1個
六角穴付皿ボルト	 M8×20	2本
六角レンチ		1本

■ 柱セット(両開き) ※柱は、約30kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

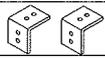
部品名	略 図	数 量
吊り元柱	 (両開き) H24:2933	L又はR 1セット
吊り元ブラケット		1個
六角穴付皿ボルト	 M8×20	2本
六角レンチ		1本

■ ガイドレール(オプション)

※○の中の数字は、数量を示します。

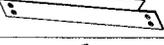
部品名	梱包内容
手動ガイドローラーセット	ガイドローラー①、Φ4×13セルフドリリングビス①、クッションゴム①
30用下部レール	下部レールA(1418.5)②、下部レールB(500)①、下部レールC(1720)②、レール位置決め部品① レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ5×16セルフドリリングビス④⑥
35用下部レール	下部レールA(1673.5)②、下部レールB(500)①、下部レールC(1975)②、レール位置決め部品① レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ5×16セルフドリリングビス④⑥
30用親子下部レール	下部レールA(1177)②、下部レールB親子(500)①、下部レールB(500)①、下部レールC(1761)② レール位置決め部品②、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ5×16セルフドリリングビス④⑥
35用親子下部レール	下部レールA(1432)②、下部レールB親子(500)①、下部レールB(500)①、下部レールC(2016)② レール位置決め部品②、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ5×16セルフドリリングビス④⑥
45用下部レール	下部レールA(1326)③、下部レールB(500)②、下部レールC ₁ (1712)②、下部レールC ₂ (1720)① レール位置決め部品②、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ5×16セルフドリリングビス⑤⑥
50用下部レール	下部レールA(1518)③、下部レールB(500)②、下部レールC ₁ (1872.5)②、下部レールC ₂ (1975)③ レール位置決め部品②、レール取付金具②、トラス小ネジ(M5×16)⑧、Φ5×16セルフドリリングビス⑤⑥
レール連結部品	レール連結裏板②、クッション材①、Φ4×10トラスタッピンネジ④

■ 上枠レールセット(片開き、親子開き)

部品名	略 図		数 量
上枠レール		(片開き) W30:3674 W35:4189	1セット
		(親子開き) W30:3756 W35:4266	1セット
第2ケリ出し板			1個
皿タッピンネジ	 φ5×50		2本
皿小ネジ	 M5×16		4本
けり出しガイド			1本
組立施工マニュアル			1刷
巾決めパイプ取付用 トラス小ネジ	 M5×16	(片開き) (親子開き)	4本
アンカー金具		(片開き) (親子開き)	2個
ガイドブラケット		(片開き)	セット
		(親子開き)	R用 L1セット L用 R1セット
第一ケリ出し板		(片開き)	1セット
		(親子開き)	R用 1セット L用 1セット
吊り元ガイド		(片開き)	2個
		(親子開き)	R用 R①、L② L用 R②、L①
座金組込み 六角ボルト	 M8×20	(片開き) (親子開き)	8本 8本
トラスタッピンネジ	 φ5×16	(片開き)	14本
		(親子開き)	20本
トラス小ネジ	 M6×20	(片開き)	4本
		(親子開き)	6本

部品箱入り

■ 上枠レールセット(両開き) ※上枠は、約67kg/本あります。取付けの際ご注意ください。

部品名	略 図		数 量
上枠レール		(両開き) W45:5386 W50:5962	1セット
第2ケリ出し板			2個
皿タッピンネジ	 φ5×50		4本
皿小ネジ	 M5×16		8本
けり出しガイド			2本
組立施工マニュアル			1刷

■ 両開き用部品箱

部品名	略 図	数 量	部品名	略 図	数 量
巾決めパイプ取付用 トラス小ネジ	 M5×16	4本	吊り元ガイド		R、L各2セット
アンカー金具		2個	座金組込み 六角ボルト	 M8×20	8本
ガイドブラケット		R、L各2セット	トラスタッピンネジ	 φ5×16	28本
第一ケリ出し板		R、L各2セット	トラス小ネジ	 M6×20	8本

施工手順

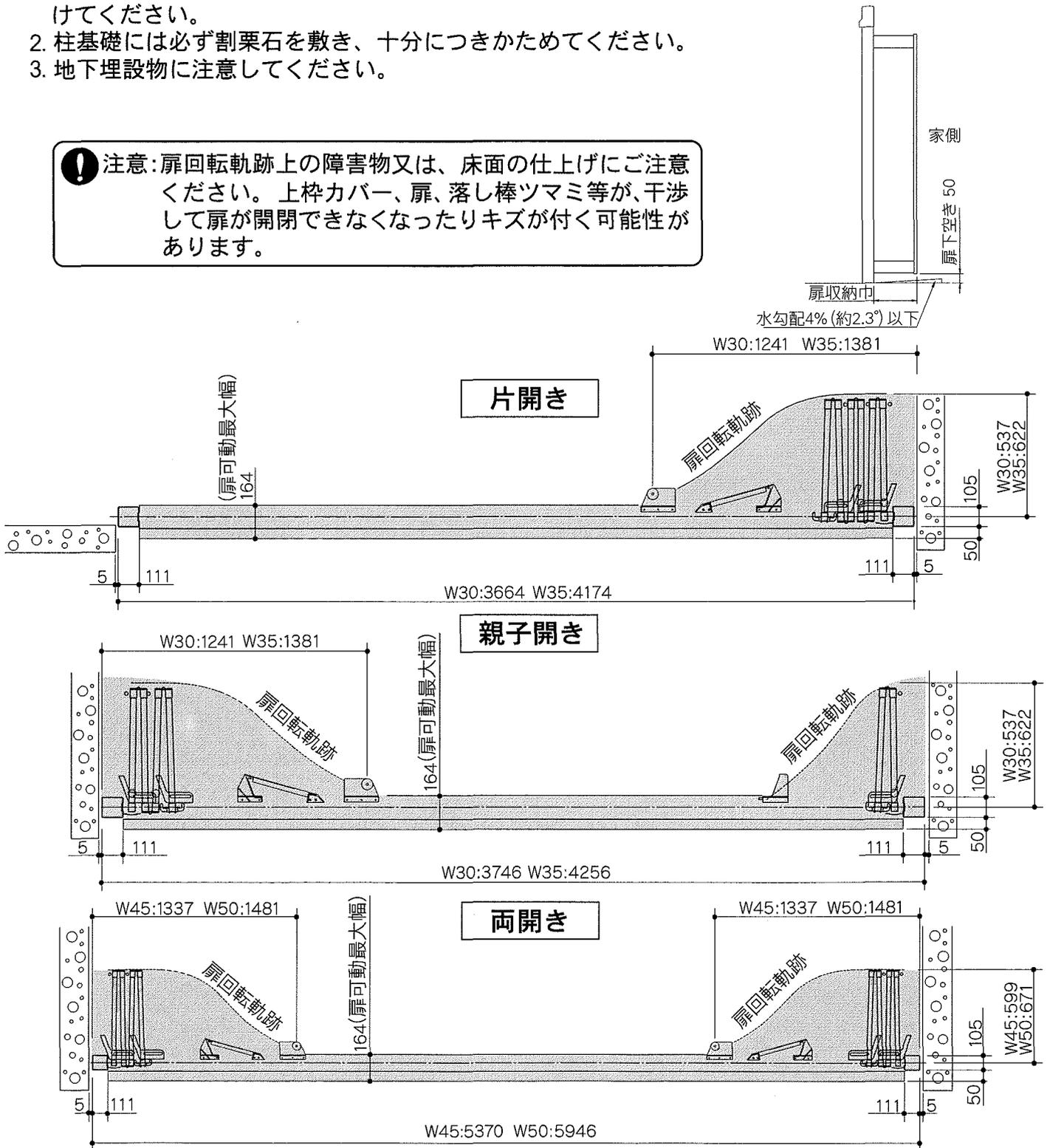
1 はじめに

1. 下記に示した以外の納まりの場合などは、強度、開閉動作、地盤等を考慮して施工してください。
2. 障害物等により、扉の開閉に支障の無い場所に設置してください。
3. 床面の仕上げは本体のたたみ巾も考慮に入れ、水平に仕上げるか水勾配等を考慮してください。
4. 姿図を参考に基礎穴を掘り、所定の仕上がりになる様捨てコンを打ち、水平レベルを出してください。

■ 基礎工事について

1. スクリーンゲートは、風圧を受けますので全体の強度保持に十分注意してください。特に地盤が軟弱な場所、台風が頻繁に飛来する地区、特に風の強い場所などの施工現場では基礎を大きめに設けてください。
2. 柱基礎には必ず割栗石を敷き、十分につきかためてください。
3. 地下埋設物に注意してください。

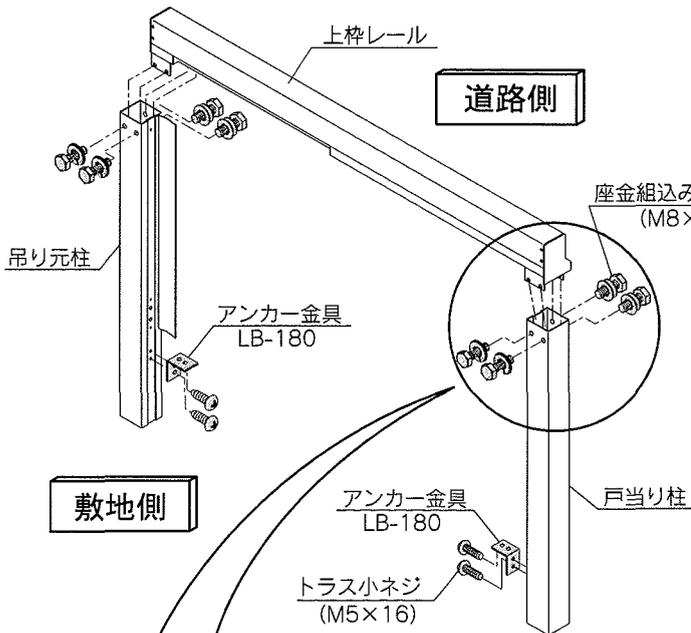
! 注意: 扉回転軌跡上の障害物又は、床面の仕上げにご注意ください。上枠カバー、扉、落とし棒ツマミ等が、干渉して扉が開閉できなくなったりキズが付く可能性があります。



2 門柱・上枠レールの組立て

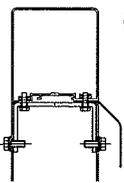
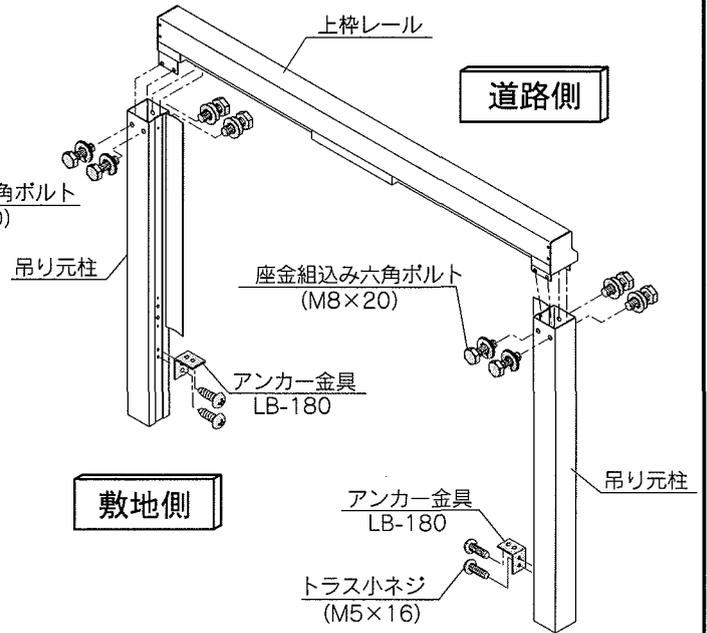
片開き ※本図は右勝手(R)を示します。

1. 各門柱の勝手を確認し上枠レールを所定のボルト・ビスで固定してください。
2. 門柱・上枠レールにねじれが出ない様に建て、倒れない様木等で仮止めしてください。又、対角・水平・垂直を確認してください。



両開き **親子開き** ※本図は右勝手(R)を示します。

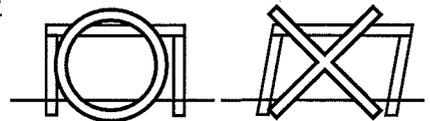
1. 各門柱の勝手を確認し上枠レールを所定のボルト・ビスで固定してください。
2. 門柱・上枠レールにねじれが出ない様に建て、倒れない様木等で仮止めしてください。又、対角・水平・垂直を確認してください。



❗ ボルト・ビスの取付けの際、アルミ型材の切断面で手、指等にケガをしないようご注意ください。又、ボルトはスパナ等で確実に固定してください。



❗ 柱の対角・水平・垂直を確認してください。



※ガイドレール仕様でない場合は、12ページ **4**「扉の吊り込み」からご覧ください。

3 ガイドレールの落とし棒受けの孔あけと柱への取付け

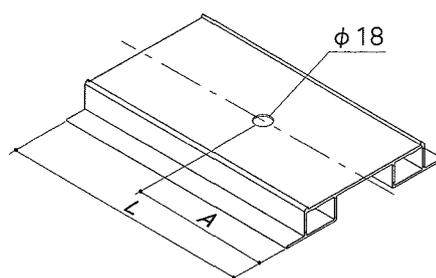
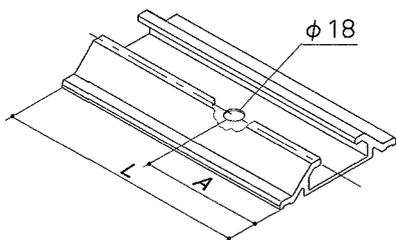
レールの落とし棒受けの孔あけ (両開き、親子開きのみ)

※右表の寸法、本数に従ってレールに先端落とし棒受けφ18の孔をあけてください。

- この孔加工は両開き、親子開きの受扉閉時の落とし棒受けの孔です。
- 下部レールA、下部レールC、各一本のみ孔加工を行います。

下部レールA

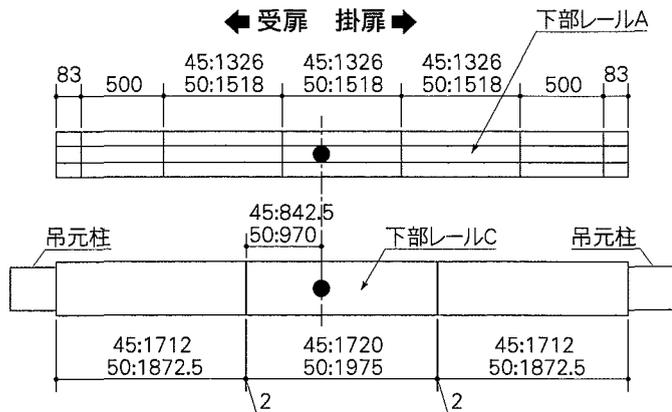
下部レールC



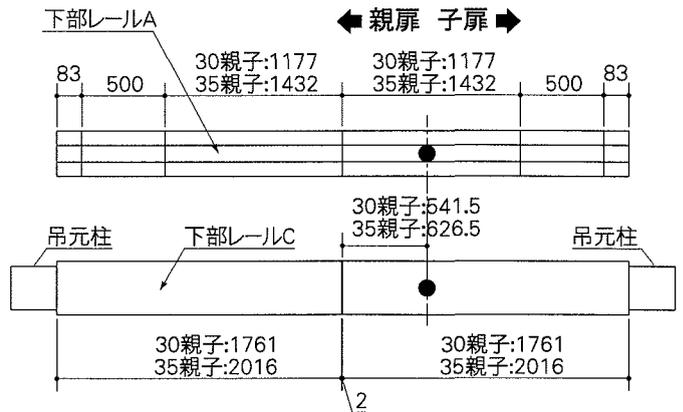
サイズ	名称	L	A	数
W45	下部レールA	1326	645.5	1本
	下部レールC	1720	842.5	1本
W50	下部レールA	1518	741.5	1本
	下部レールC	1975	970	1本
30用親子	下部レールA	1177	542.5	1本
	下部レールC	1761	541.5	1本
35用親子	下部レールA	1432	627.5	1本
	下部レールC	2016	626.5	1本

※両開き・親子開きの場合、レールは下図を参照し連結してください。

両開き

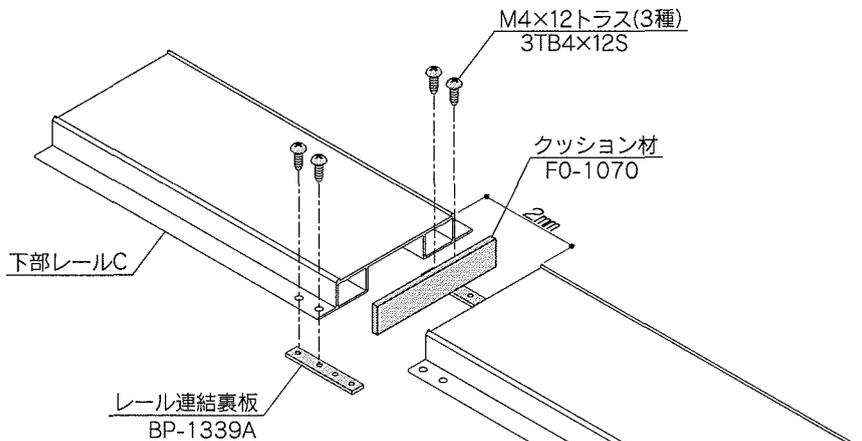


親子開き



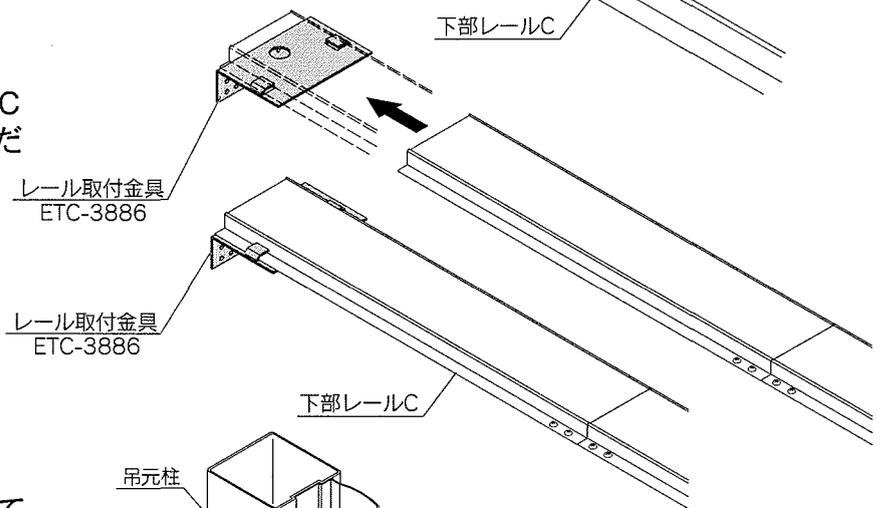
下部レールCの連結

1. 下部レールCの小口にクッション材をはさみ、レール連結裏板でビス止めしてください。



レール取付金具の取付け

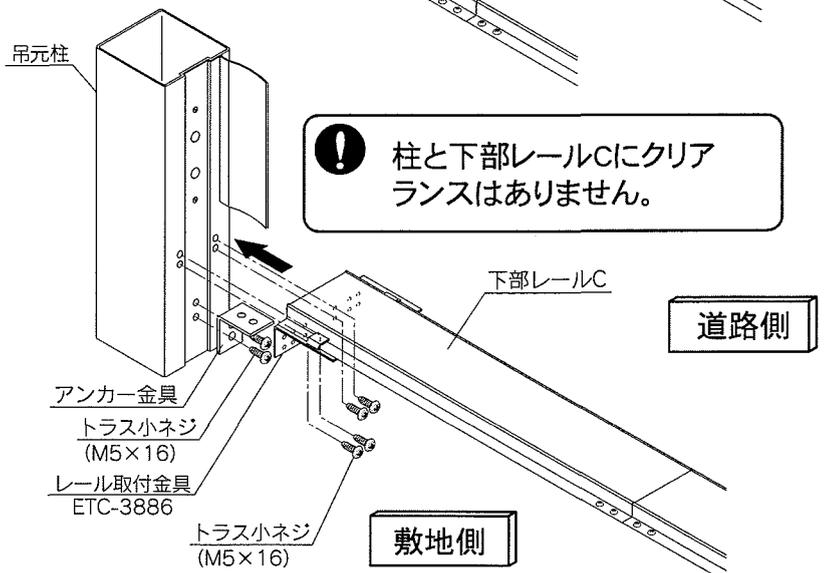
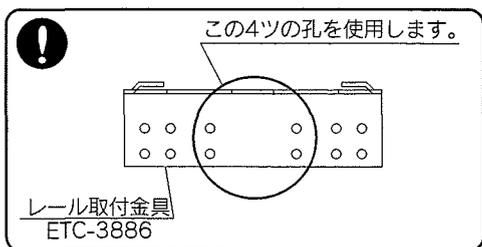
2. レール取付金具に下部レールCをスライドさせて取付けてください。



柱への取付け

3. レール取付金具を柱に取付けてください。

※レール取付金具を柱にビス止めする際に、使用するビス孔は下図に示す真中4つの孔を使用してください。

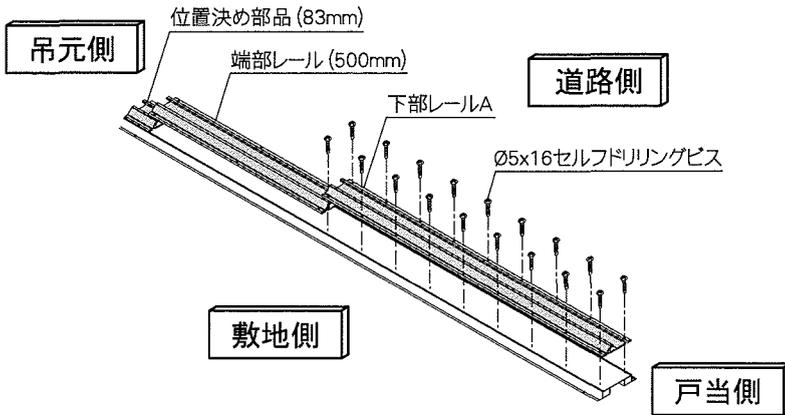


下部レールの取付け

4. 下図を参照して「位置決め部品 (83mm)」
「端部レール (500mm)」を仮置きし、下部
レールAをビス止めしてください。
(端部レール、位置決め部品は下部レールA
を取付けた後、取り外してください。端部レール
は扉吊り込み後に固定します。)

! 扉吊り込み時に、端部レール (500mm) が扉
下部ガイドローラーに緩衝して、扉を吊り
込められなくなる為、端部レール (500mm)
は扉吊り込み後、取付けてください。

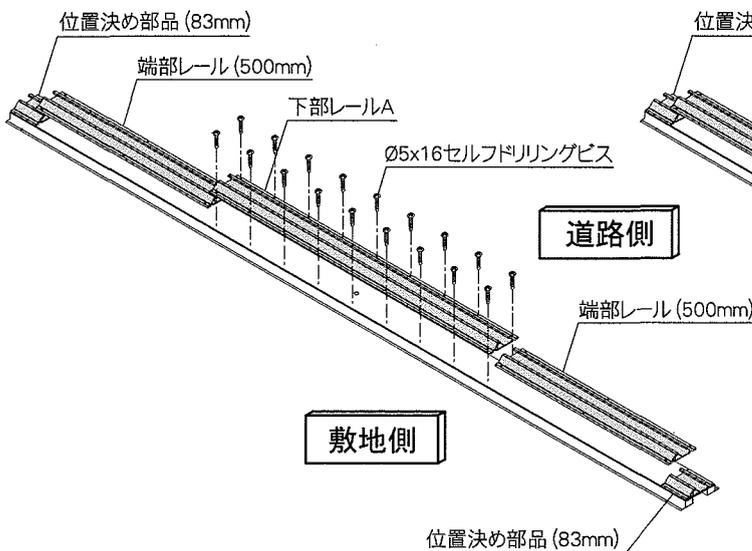
片開き



※本図は外観右勝手(R)の内観図を示します。

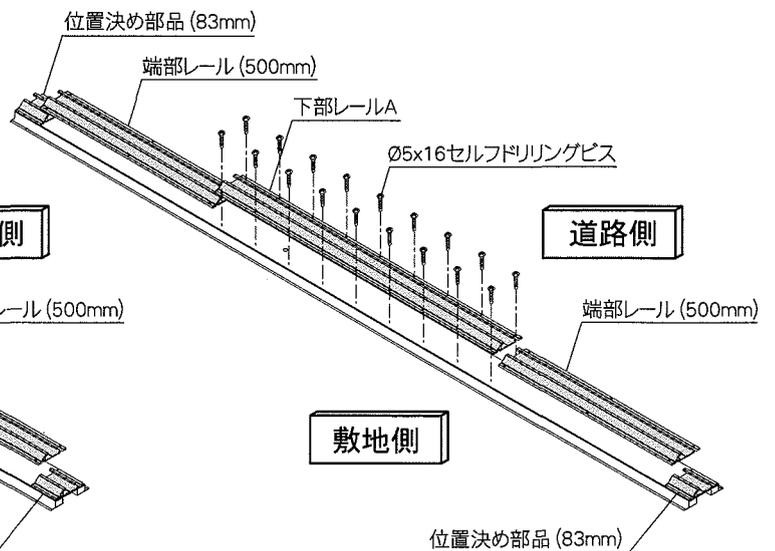
※両開き、親子開きの場合は、9ページの**3**で孔あけした下部レールAと下部レールCの孔をあわせてください。

両開き



※本図は外観右勝手(R)の内観図を示します。

親子開き



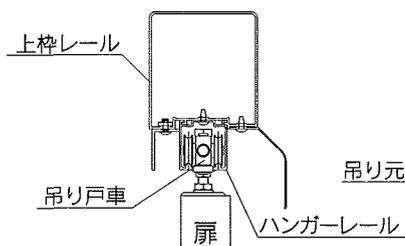
※本図は外観右勝手(R)の内観図を示します。

! 下部レールAはビスでしっかりと取付けてください。

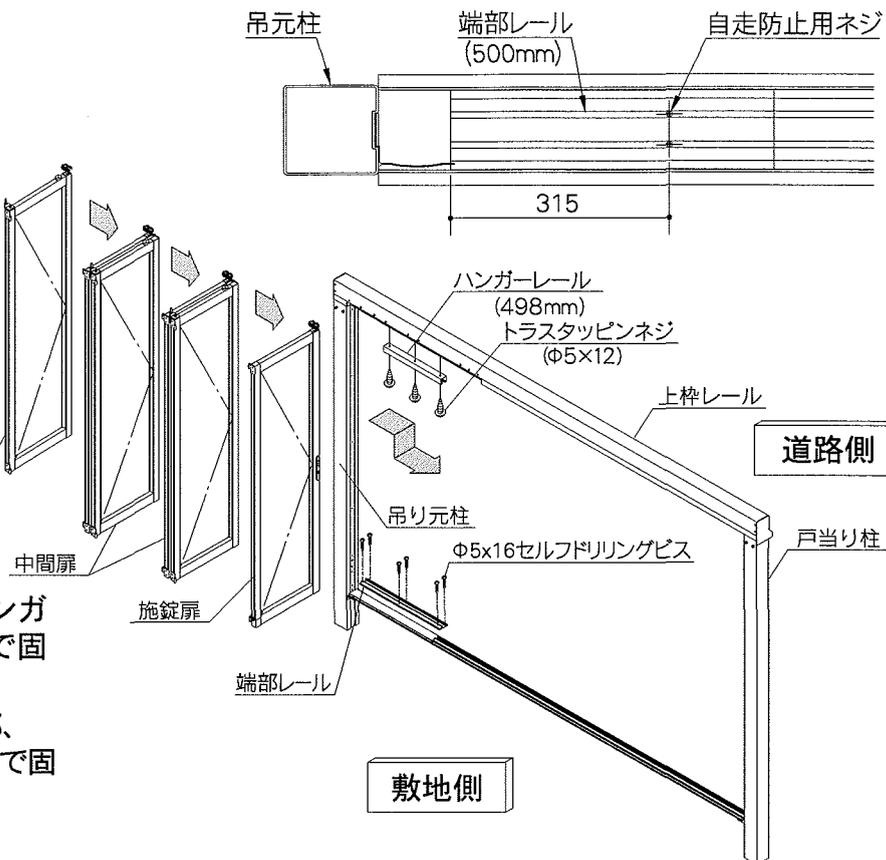
4 扉の吊り込み

片開き

1. 吊り元柱側の上枠レール内に組込んであるハンガーレール(498mm)を取り外してください。
2. 施錠扉から順次吊り戸車を差し込み、戸当り柱側へ移動させてください。



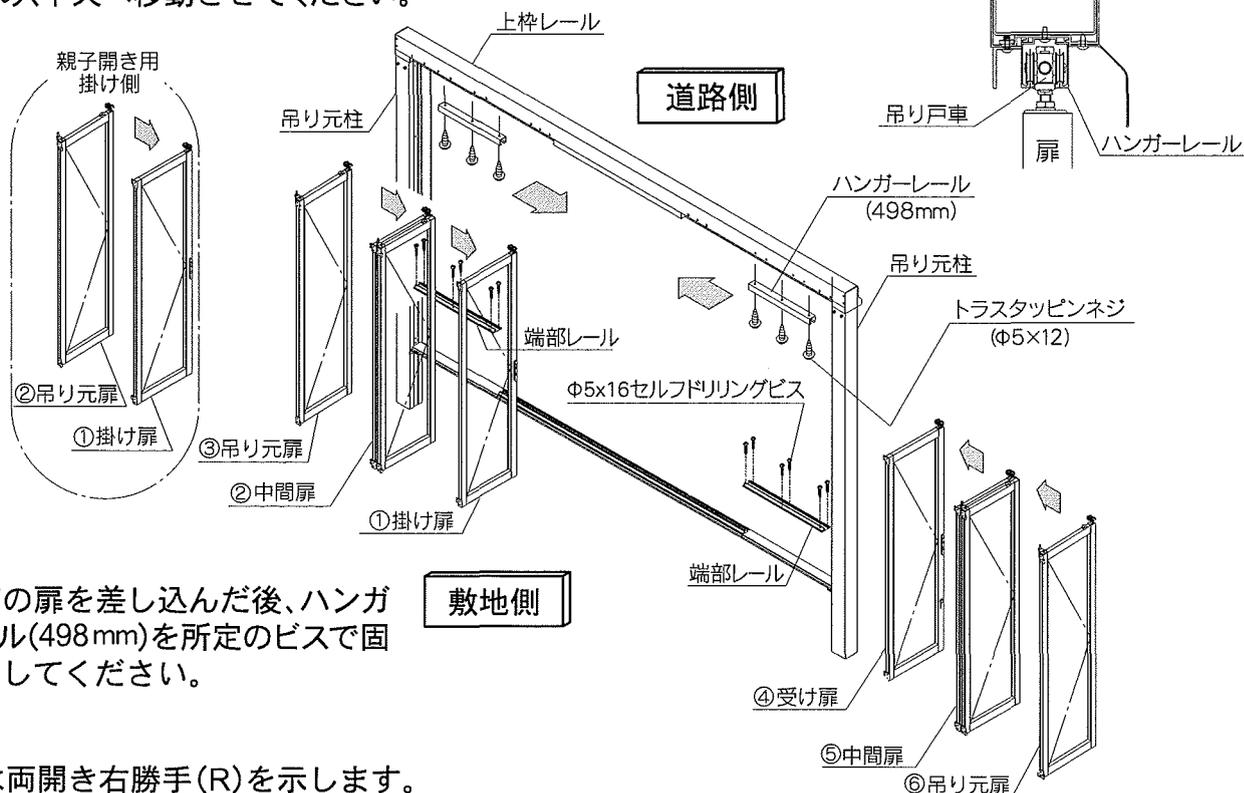
3. すべての扉を差し込んだ後、ハンガーレール(498mm)を所定のビスで固定し直してください。
4. ハンガーレールを固定した後、下部、端部レール(500mm)を所定のビスで固定してください。



親子開き

両開き

1. 上枠レール内に組込んであるハンガーレール(498mm)を取り外してください。
2. 掛け扉から①～⑥の順に吊り戸車を差し込み、中央へ移動させてください。

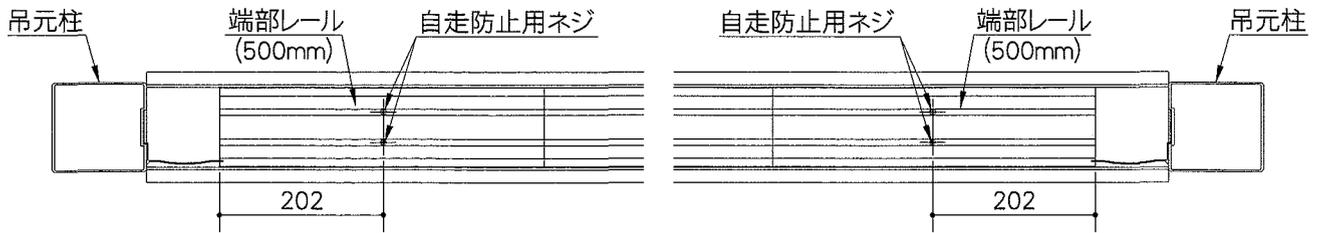


3. すべての扉を差し込んだ後、ハンガーレール(498mm)を所定のビスで固定し直してください。

※本図は両開き右勝手(R)を示します。

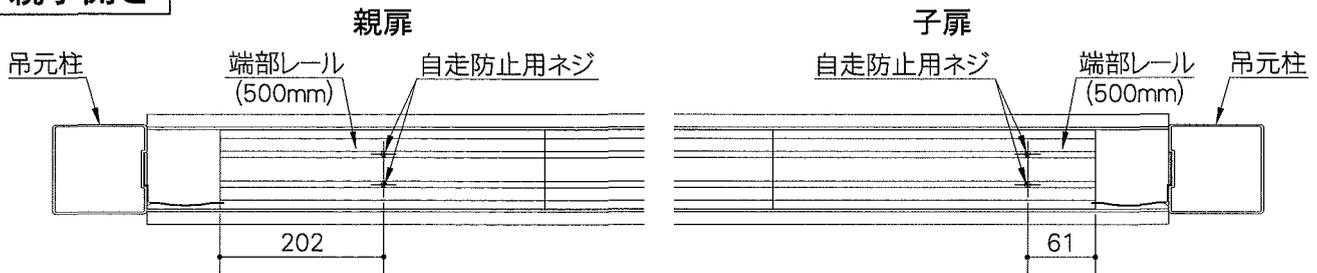
4. ハンガーレールを固定した後、下部、
端部レール(500mm)を所定のピスで固
定してください。

両開き



※端部レール(500L)には、自走防止用ネジが付いています。
取付けの向きに注意してください。

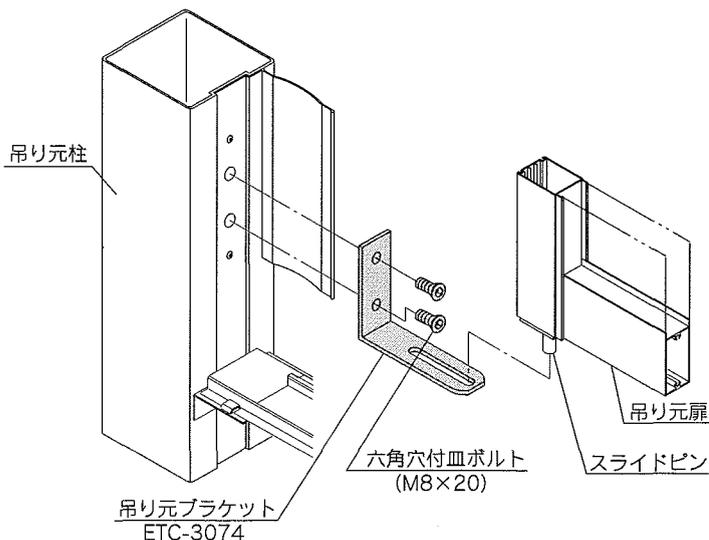
親子開き



5 吊り元ブラケットの取付け

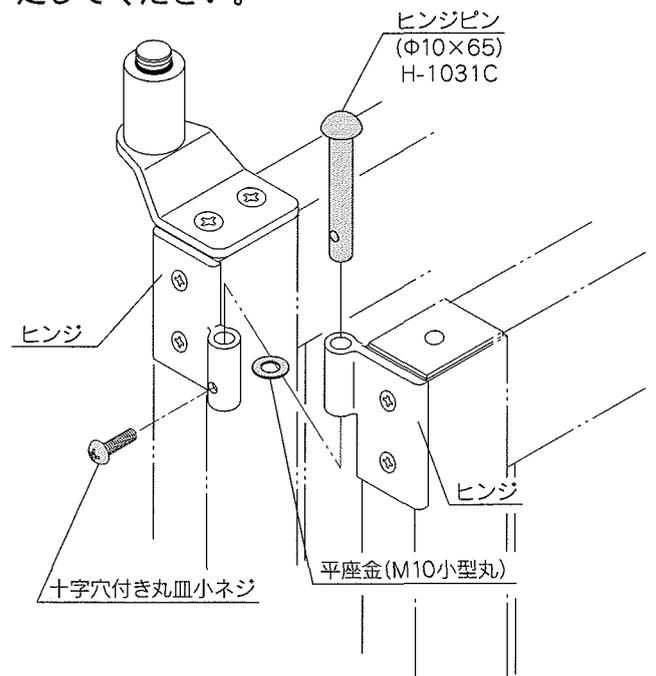
1. 吊り元ブラケットに吊り元縦框の下部
に付いているスライドピンを通し、吊
り元ブラケットを六角穴付皿ボルトで
固定してください。

※付属の六角レンチで確実に固定してください。



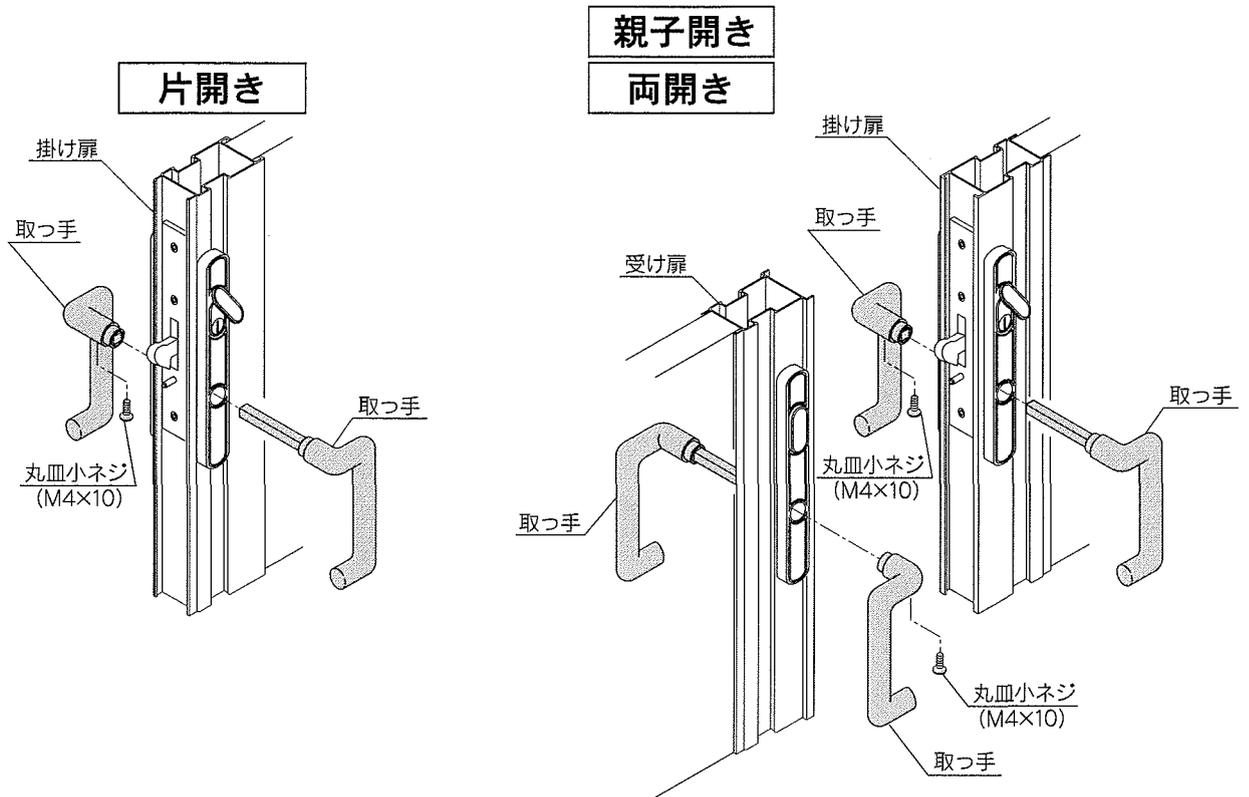
6 扉の連結

1. ヒンジにヒンジピン及び平座金を通
し所定の十字穴付き丸皿小ネジで固
定してください。



7 取っ手の取り付け

1. 取っ手を所定のビスで取り付けてください。



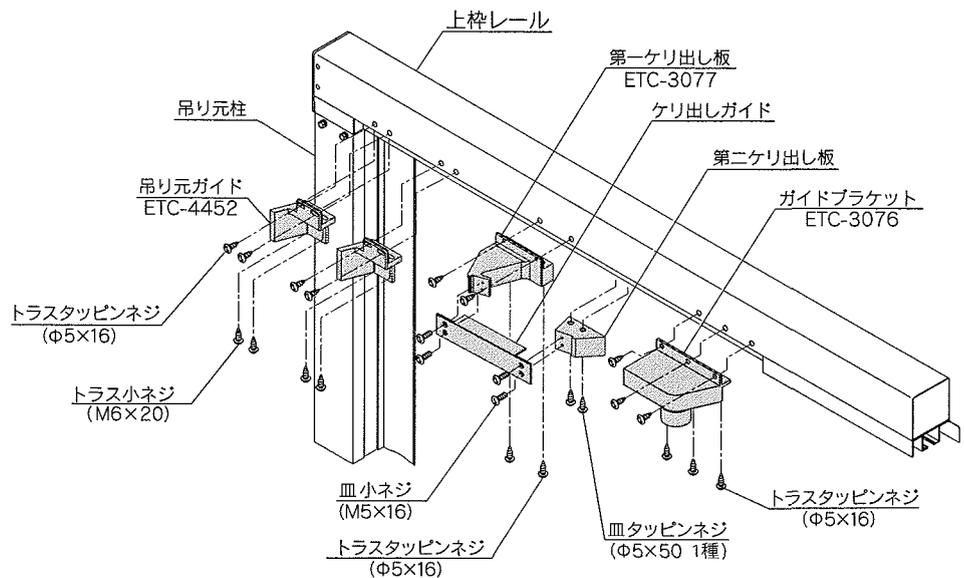
8 吊り元ガイドの取り付け

1. 扉を閉じた状態にした後、下図を参考に各ガイドを所定のビスで取り付けてください。

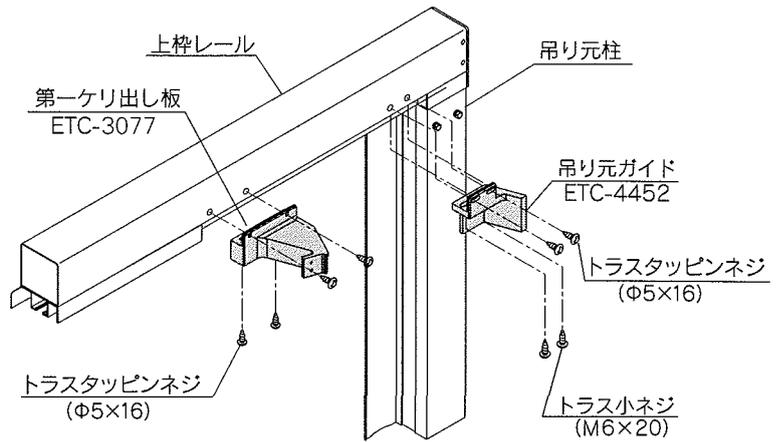
片開き

両開き左右

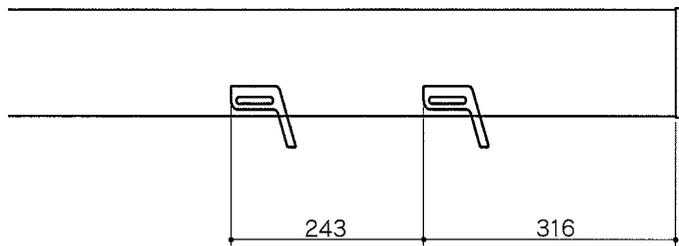
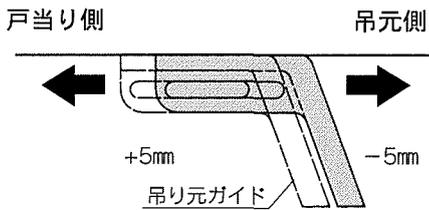
親子開き受け側



親子開き掛け側



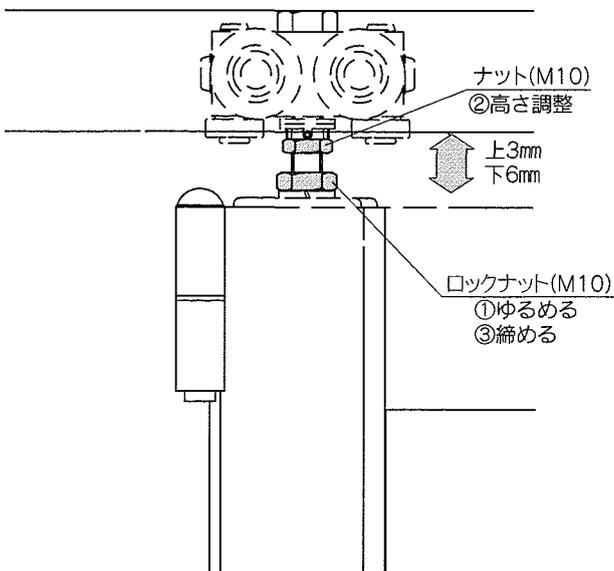
! 取付けの際、吊元ガイドの向きに注意して取付けてください。
扉を数回開閉して吊り元ガイドの位置を調整してください。



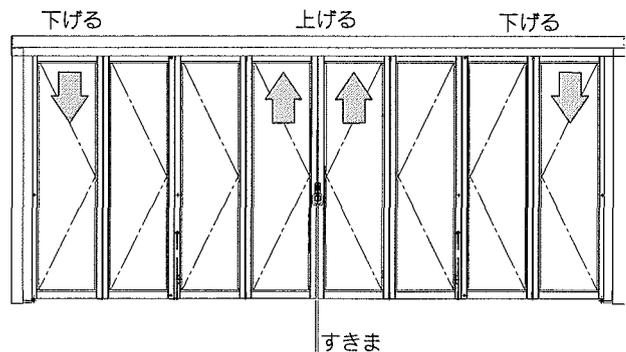
9 吊り戸車の高さ調整

1. 吊り戸車の高さを調整し、召し合わせ部の上下に隙間が出ない様にしてください。

調整方法は、下図の番号順に従って調整してください。



! 扉の召し合わせ部で隙間が生じた場合は、高さ調整を行ってください。

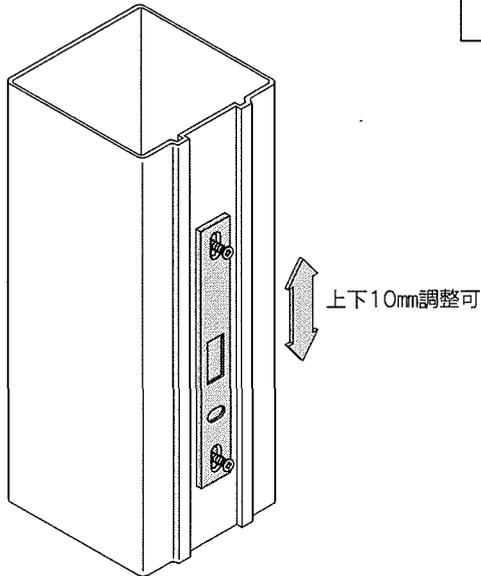


! 吊り戸車調整後、必ずロックナット(M10)を増し締めしてください。ロックナット(M10)が緩んでいると扉の高さ位置が下がって、開閉できなくなる可能性があります。

10 施錠受けの高さ調整

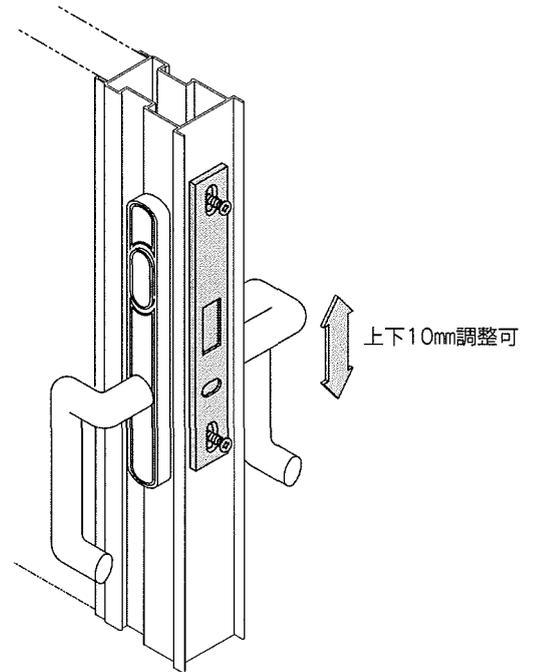
1. 施錠合わせ等高さ調整が必要な場合には、施錠受けの取り付けビスをゆるめ調整後固定してください。

片開き



親子開き

両開き



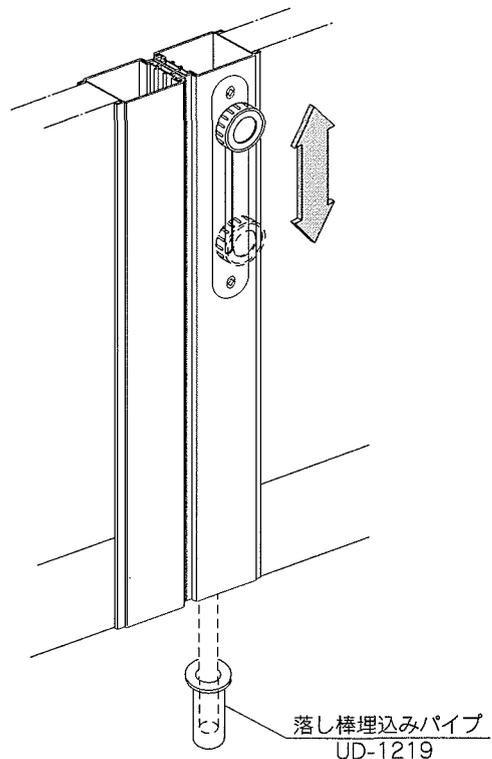
11 落とし棒の操作方法及び設置

※ガイドレール式の場合は必要ありません。

中間落とし棒(ガイドレールなしの場合)

1. 中間落とし棒は、閉じた状態を固定する為のものです。現物合わせにてコンクリートにφ18の孔をあけ、落とし棒埋込パイプを埋込んでください。

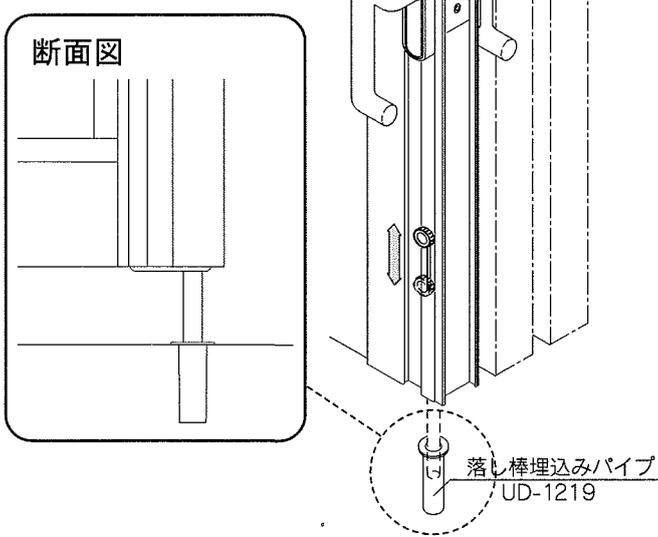
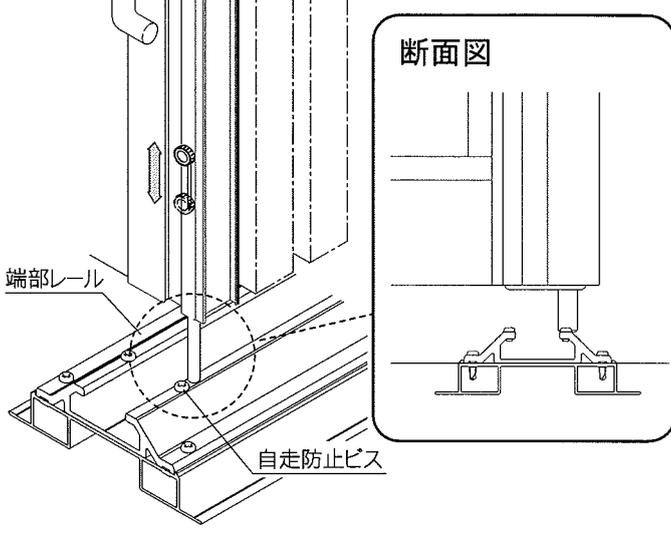
! 扉を開ける時には、必ず落とし棒を上まで上げてください。
扉を閉じた時には、必ず落とし棒を下ろしてください。風等におられて破損の原因となります。



自走防止用の落とし棒受けの取付け(片開き・両開き・親子開き共通)

! 扉をたたんだ時は、必ず落とし棒を下してください。風等にあおられて、自走し車等を傷つける恐れがあります。

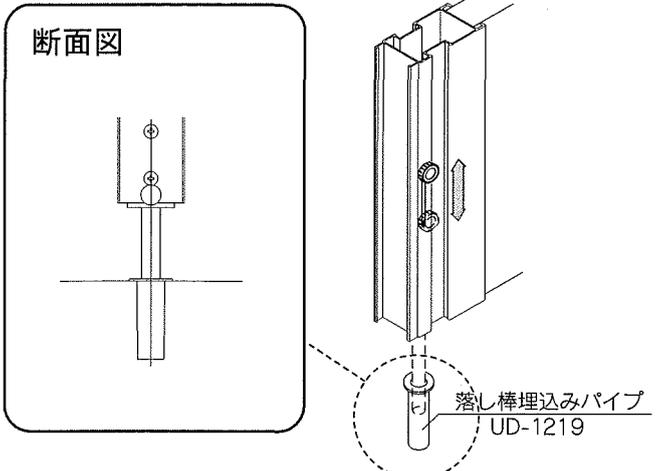
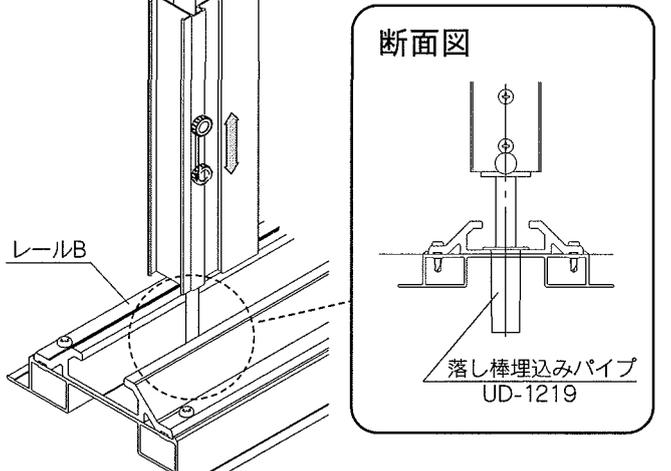
1. 落とし棒はたたんだ状態で自走しないように維持する為のものです。

ガイドレールなしの場合	ガイドレール仕様の場合
<p>現物あわせにて、コンクリートφ18の孔をあけ、落とし棒埋込みパイプを埋込んでください。</p>	<p>自走防止ネジが取り付けられていますので、孔あけの必要はありません。</p>
 <p>断面図</p> <p>落とし棒埋込みパイプ UD-1219</p>	 <p>断面図</p> <p>端部レール</p> <p>自走防止ビス</p> <p>落とし棒埋込みパイプ UD-1219</p>

両開き・親子開き受扉落とし棒受けの取付け

1. 両開き・親子開きの場合は、受扉の落とし棒は必ず下してください。

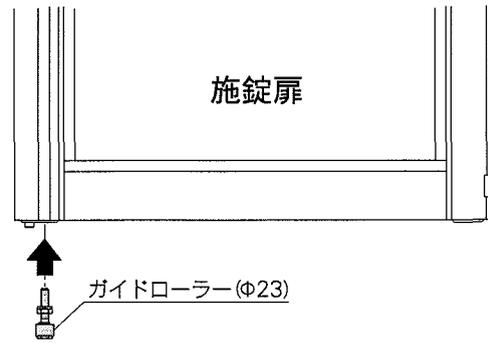
! 扉を閉じた場合の掛扉の落とし棒は、落す必要はありません。

ガイドレールなしの場合	ガイドレール仕様の場合
<p>現物あわせにて、コンクリートφ18の孔をあけ、落とし棒埋込みパイプを埋込んでください。</p>	<p>9ページの3で孔あけした位置に合わせてφ18の孔をあけ、落とし棒埋込みパイプを埋込んでください。</p>
 <p>断面図</p> <p>落とし棒埋込みパイプ UD-1219</p>	 <p>断面図</p> <p>レールB</p> <p>落とし棒埋込みパイプ UD-1219</p>

ガイドレール(オプション)仕様

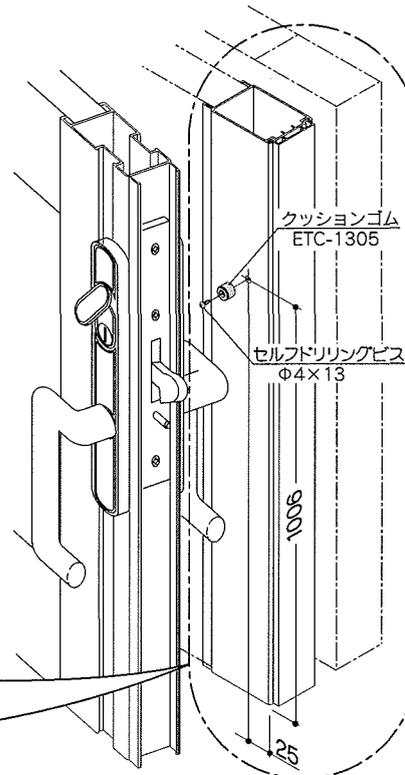
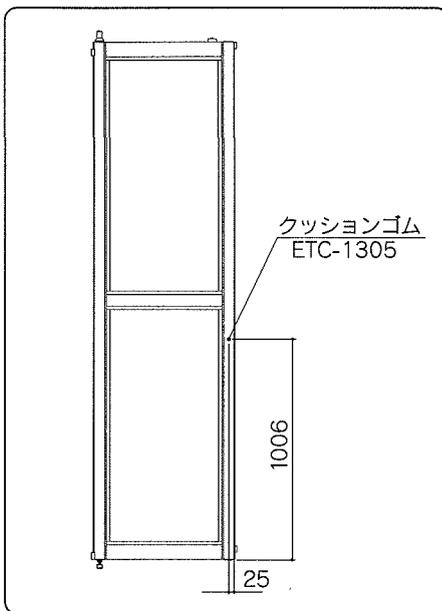
12 ガイドローラーの取付け

1. 下図のようにガイドローラーを施錠扉に取付けてください。



13 クッションゴムの取付け

1. 右図を参照して、クッションゴムを取付けてください。
- ※ 取手と扉の干渉傷を防止する為、「手動ガイドローラーセット」内のクッションゴムを扉の動作確認後、取付位置図を参照の上、取付けてください。



※ クッションゴムは、取手と扉の干渉傷を防止の為取付けますので、干渉部以外は、使用しません。

おわりに

以上で取り付けは完了ですが、お客様に正しく取り扱っていただく為に施工完了後に、作動、錠の掛かり具合等を確認後、使用方法・使用上の注意等をお客様に説明し、この施工説明書をお渡しください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡ししてください。
- 取扱説明書に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL () -		
販売店	TEL () -		


新日軽株式会社
 この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。
 お客様相談室  **0120-37-2534**

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>